

# 「滋賀の流域治水」

～地域性を考慮した多重防御の治水対策～

平成29年11月22日(水)  
埼玉県庁さま  
説明資料



**ながす**

162m  
100m

河川の改修工事と適正な維持管理

**ためる**

グラウンドや森林などの雨水貯留

**とどめる**

宅地の高上げと土地利用規制

**そなえる**

国土訓練、避難計画の作成、防災訓練

**地先の安全度マップ (基礎情報)**

# 琵琶湖・淀川水系



# 滋賀県の地形特性



- 山に囲まれ、雨のほとんどは琵琶湖に流れる。
- 琵琶湖流域面積 3,848km<sup>2</sup>
- 琵琶湖貯水量 275億m<sup>3</sup>
- 琵琶湖面積 674km<sup>2</sup>
- 水位1cm=674万m<sup>3</sup>

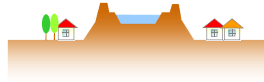
びわ湖の流域範囲

# 滋賀県の社会特性

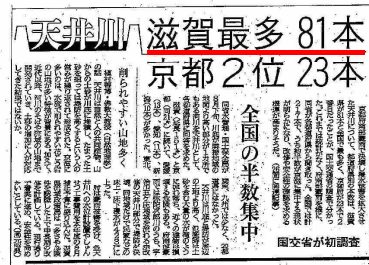


- 県南部では、農地等での開発が進み、人口が増えている。
- 人口 約141万3千人
- 人口増加率  $\Delta 0.01\%$   
- 47都道府県中 8位  
(平成28年10月1日 人口推計)

# 天井川が全県的に存在



旧草津川(草津市)



平成24年9月20日京都新聞(朝刊)



犬上川(彦根市)



姉川(長浜市)



大砂川(湖南市)

## ご説明内容

1. 条例制定の背景と経緯
2. 流域治水の基礎情報  
～地先の安全度マップ～
3. 流域治水の取り組み  
～ながす・ためる・とどめる・そなえる～

## 「しがの流域治水」

～地域性を考慮した総合的な治水対策の展開～



### 滋賀県流域治水条例の目的

1. どのような洪水でも、人の命を守る(最優先)
2. 床上浸水など生活再建が難しくなる被害を避ける

人命  
最優先

ながす



河川の改修工事、適正な維持管理

そなえる



図上訓練、避難計画の作成、防災訓練

4つの対策を総合的に実施

ためる



グラウンドや森林などでの雨水貯留

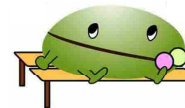
とどめる



宅地の高上げ、土地利用規制

## 流域治水政策の歩み

- H18.9 流域治水政策室 設置
- H18.10～ 水政対策本部琵琶湖流域治水推進部会 庁内組織
- H19.7～H23.5 流域治水検討委員会(行政部会) 市町
- H20.2～H21.3 流域治水検討委員会(住民会議) 提言(H20.12)
- H21.1～H22.5 流域治水検討委員会(学識者部会) 提言(H22.5)
- H23.4 流域政策局 設置(流域治水政策室、広域河川政策室、河川・港湾室、琵琶湖不法占用対策室、水源地域対策室)
- H23.5 『滋賀県流域治水基本方針(案)』を策定
- H24.3 県議会で『滋賀県流域治水基本方針』を議決、策定
- H24.9～H25.8 「地先の安全度マップ」公表
- H25.9 台風18号襲来
- H25.9 9月県議会で『流域治水条例案』を提案
- H26.3 2月県議会 『流域治水の推進に関する条例』議決・公布

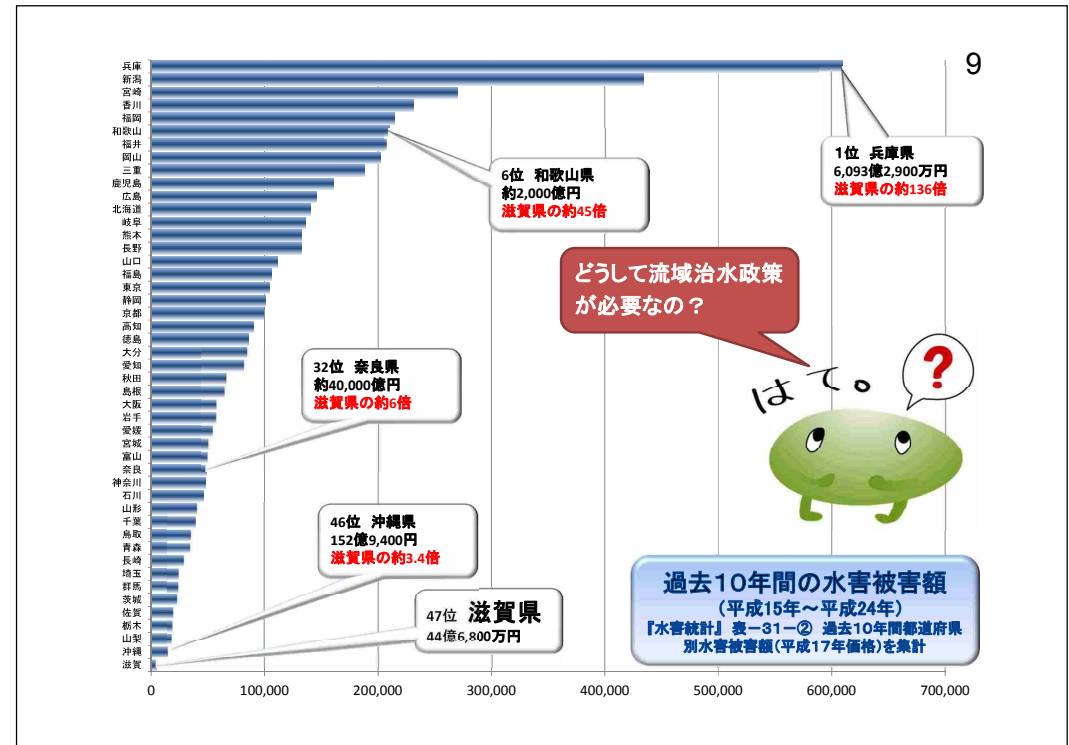
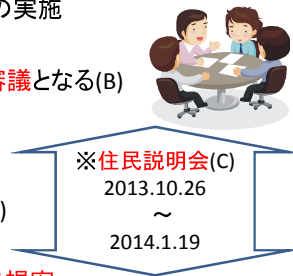


はじまりから条例制定まで、足掛け8年かかりました。

## 滋賀県流域治水条例の審議経過

8

- 2012(H24).3 『滋賀県流域治水基本方針』県議会議決。基本方針策定
- 2012.9～2013.8 「地先の安全度マップ」公表
- 2013.5～ 条例要綱案公表、パブリックコメントの実施
- 2013.9.16 台風18号襲来(A)
- 2013.9.18 9月県議会に条例案を提案 継続審議となる(B)
- ＜理由＞ ①住民や地元への説明が不十分  
②住民への罰則規定が問題である  
③具体的な河川整備計画を作ること
- 2013.12 11月県議会 再度、継続審議となる(B)
- ＜理由＞ 関係住民への更なる説明が必要
- 2014.2.18 2月県議会 条例案を撤回、修正案を提案
- ＜撤回理由＞(A)(B)(C)をふまえ、一部修正するため
- 2014.3.24 2月県議会 『流域治水の推進に関する条例』議決
- 2014(H26).3.31 条例公布・施行(但し、以下の①②は後日施行)
- ①宅地建物取引業者の情報提供努力義務規定は公布日から6か月以内 (平成26年9月1日施行)
  - ②建築規制は公布日から1年以内 (平成27年3月30日完全施行)



10

## 流域治水政策が必要な理由

①

災害に上限は無いこと  
治水に完全は無いこと

## 河川整備の限界

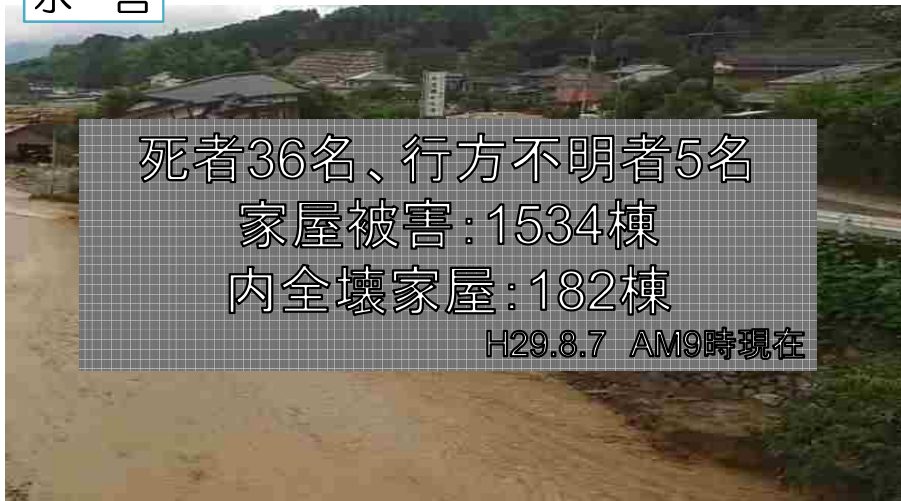
11

1時間50mm以上の雨 → 増加している(全国)



水害

国土地理院HPより



九州北部(福岡、大分) 平成29年 7月豪雨

土砂災害

国土地理院HPより



九州北部(福岡、大分) 平成29年 7月豪雨

北海道・東北地方 平成28年8月 台風10号



水害

提供:国土交通省関東地方整備局



鬼怒川 平成27年9月10日 台風18号

# 土砂災害



画像取得日2014.11.4.のGoogle earth 画像より

平成26年広島豪雨災害 死者74名

# 平成16年7月 新潟豪雨災害 五十嵐川・刈谷田川

- 100年に一度の洪水でも耐えられる堤防が完成、上流にダムもありました…
- 新潟県下で死者15名，全壊家屋70棟，床上浸水・床下浸水合わせ8,295棟。

「治水に完全はない」



# 本県の河川における氾濫防止対策の実施状況の概要「ながす」対策

○河川改修事業

■天井川の切下げ改修を重点的に実施中

■未改修区間の住家が近接する箇所等の堤防強化を重点的に実施中



○河川維持管理事業



# 河川整備には長い時間がかかります。 治水安全度1/10を確保するためには今後100年以上要する。

(残事業費6,000億円÷57億円/年=約105年)

